

C16b 市民参加型研究プロジェクト用 WWW 公開システム

石田 俊人 (西はりま天文台・兵庫県立大学)

西はりま天文台公園の2m望遠鏡には、公開天文台で毎日でも一般向けの観望会が実施される状況の中で、限られた人員による運用を可能とするため、さまざまな工夫を行っている。結果として、2m望遠鏡システムは、従来の望遠鏡システムと比較して、一般市民が研究観測を体験することがより容易なシステムとなった。このような2m望遠鏡の特徴を生かすため、また公開天文台という施設の性質も考え合わせて、西はりま天文台では新しい形の参加体験型の教育普及プログラムの実施を検討してきている。西はりま天文台では、このような参加体験型の研究プロジェクトを「@site」プロジェクトと称している。

この「@site」プロジェクトでは、一般市民が参加して得たデータがすぐに研究プロジェクトの進行状況をまとめたところに反映され、自分の貢献部分を見ることができるようになることが、多くの市民の興味を得る上で重要と考えられる。これはまた、科学研究の進行過程を一般市民に公開するという意味でも、科学・天文学の普及に役立つものと思われる。このような機能を実現するためには、それぞれのプロジェクトの観測結果が、データベースの形でまとまっていること、一般市民向けの進行過程の公開はWWW上で行うこと、WWW上の内容は動的に生成され、新しくデータが加わったときにそれが即時に反映されること、などが必要である。現在、このようなシステムの具体的な構築を開始しており、年会時にはそのプロトタイプを紹介する予定である。